


「財産目録」の書き方



財 産 目 録

令和〇〇年 6月 15日

申請書を提出する日を記載してください。

1. 住所・氏名等

住 所 所在地	〒 〇〇市△△町×-×-×	氏 名 称	芦 屋 太 郎
------------	---------------	-------	---------

2. 現在納付可能資金額

現金及び預貯金等	預金の種類	預貯金等の額	納付可能金額	納付に充てられない事情
現金		60,000円	60,000円	<input type="checkbox"/> 凍結資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他 ()
〇〇銀行△△支店	普通	40,000円	0円	<input type="checkbox"/> 凍結資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (自動車取替のため)
××信用金庫〇〇支店	当座	100,000円	0円	<input checked="" type="checkbox"/> 凍結資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他 ()
現在納付可能資金額			60,000円	

3. 納付可能収入及び支出の状況 (円)

区 分	見 込 合 計	分割納付金額		備考
		月	金額	
給与・手当・報酬	350,000円	6月	20,000円	3
その他 ()	円	7月	20,000円	
	円	8月	20,000円	
① 収入合計	350,000円	9月	20,000円	
家賃等	50,000円	10月	20,000円	
諸経費	円	11月	20,000円	
借入返済	15,000円	12月	20,000円	
	円	1月	20,000円	
	円	2月	20,000円	
	円	3月	20,000円	
生活費 (扶養家族3人)	235,000円	4月	20,000円	
	円	5月	20,000円	
② 支出合計	330,000円	【参考】		
納 付 可 能 基 準 額	20,000円			

4. 財産等の状況

財産の種類	担 保 等
④ 債権・株式等	<input type="checkbox"/>
不動産等	跡地 (〇〇市△△町××) <input type="checkbox"/>
車 両	乗用車 (AA 330 あ〇〇〇〇・ローン付) <input type="checkbox"/>
その他財産 (敷金・保証金・保険等)	〇〇生命保険 <input type="checkbox"/>

5. 借入等の状況

借入先等の名称	借入金額	月額返済額	返済終了年月	返済猶予	担保提供状況
〇〇銀行△△支店	1,000,000円	15,000円	令和〇〇年 3月 末日	可 (B)	
	円	円	年 月 日	可・否	
	円	円	年 月 日	可・否	

この金額は直ちに納付に充てることができる金額です

申請書の「納付計画」欄に転記します。

「納付可能基準額①-②」に記載した金額を記載します。ただし、随時的な収入又は支出がある月において、納付可能基準額よりも増額又は減額した金額により納付する場合には、その増額又は減額した金額を記載します。

※ 各欄に記載しきれない場合は、別紙に記載してください。

1 「2 現在納付可能資金額」欄

この欄では、申請書を提出する日現在において、直ちに納付することができる金額を計算します。

①	②	③	④	⑤
現金及び預貯金等	預金の種類	預貯金等の額	納付可能金額	納付に充てられない事情
現金	普通	60,000円	60,000円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他 []
〇〇銀行△△支店		40,000円	0円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input checked="" type="checkbox"/> その他 [自動車税納付のため]
××信用金庫〇〇支店	当座	100,000円	0円	<input checked="" type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他 []
		円	円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他 []
⑥ 現在納付可能資金額			60,000円	

- ① 申請書を提出する日現在の預貯金等がある金融機関等の名称・支店名、上場株式などの売却が容易な財産の名称・数量を記載します。
- ② 預貯金について、普通、当座、定期、貯蓄等の種類を記載します。
- ③ 申請書を提出する日現在の自宅や事務所等に保管している手持ち現金の金額及び預貯金等の金額を記載します。
- ④ 納付することができる金額を記載します。
- ⑤ 預貯金等の額のうち、納付できない事情がある場合に、当てはまる事情にチェックを付けます。「その他」にチェックを付けた場合にはその事情を[]内に具体的に記載します。
- ⑥ 「納付可能金額」欄の合計額を記載します。
「現在納付可能資金額」欄の金額は、直ちに納付に充てることができる金額であるため、できるだけ速やかに納付してください。
なお、納付がない場合は、猶予が不許可になることがありますので、ご注意ください。

2 「3 平均的な収入及び支出の見込み(月額)」欄

猶予期間中における月単位の平均的な収入及び支出の見込金額を記載します。
この欄で計算した「③納付可能基準額 (①-②)」を基に「④ 分割納付計画」欄を記載します。

「収入」欄

売上収入その他の経常的な収入を全て記載します。(納税者が個人の場合には、給与収入や報酬も含めて記載します。)

「支出」欄

① 事業に係る支出

仕入、給与などの人件費、家賃等、諸経費、借入返済その他の支出を記載します。なお、これらの支出は、事業の継続のために真に必要と認められるものに限られるため、例えば、次に掲げるようなものは認められません。

- ・ 不要不急の財産の取得のための支出
- ・ 期限の定めのない債務の弁済のための支出

② 生活費（納税者が個人の場合のみ）

納税者及び納税者と生計を一にする配偶者その他の親族の生活費として、次のA又はBのいずれかの方法により計算した金額を記載します。

A 納税者及び納税者と生計を一にする配偶者その他の親族の生活費として、
①納税者本人につき100,000円、②生計を一にする配偶者その他親族1人につき45,000円、③手取り額（*）から①及び②を差し引いた金額の100分の20に相当する金額（または①及び②の合計額の2倍に相当する額のいずれか少ない金額）の合計額。

* 「手取り額」とは、給与所得者については、直近の1か月分の給与収入から源泉所得税、地方税及び社会保険料等を控除した金額をいいます。
なお、複数の所得がある場合は、それぞれの所得金額について計算した額の合計です。

B 実際に支払った食費、光熱費などの金額を具体的に把握している場合は、それらの金額のうち、生活費として通常必要と認められる金額を積算した金額。

《Aの方法により計算した場合》

（給与収入（手取り額）：35万円、4人家族（納税者本人、妻、子2人）の場合）
納税者は、妻及び子2人を扶養しているが、妻にはパートによる給与収入が月5万円程度ある。また納税者は病院に通院しており、月に15,000円程度の医療費を支払っている。

$$\begin{array}{l} 100,000 \text{ 円} \textcircled{1} + (45,000 \text{ 円} \times 3 \text{ 人}) \textcircled{2} = 235,000 \text{ 円} \text{(a)} \\ \text{(納税者本人の生活費)} \quad \text{(生計を一にする親族の生活費)} \\ 235,000 \text{ 円} \text{(a)} + \{ (350,000 \text{ 円} - 235,000 \text{ 円} \text{(a)}) \times 20/100 \} \textcircled{3} = 258,000 \text{ 円} \\ \text{(手取り額)} \quad \text{(基準額)} \\ 258,000 \text{ 円} \text{(基準額)} + 15,000 \text{ 円} \text{(医療費)} - 50,000 \text{ 円} \text{(妻の給与収入)} = 223,000 \text{ 円} \text{(生活費)} \end{array}$$

3 「4 分割納付計画」欄

「3 平均的な収入及び支出の見込み(月額)」欄の「③納付可能基準額(①－②)」を基に具体的な納付計画を記載します。この欄に記載した納付計画は申請書の「納付計画」欄に転記します。

「月」欄

猶予期間中の全ての月を記載します。

「分割納付金額」欄

猶予期間中の各月における納付金額は「3 平均的な収入及び支出の見込み(月額)」欄の「③納付可能基準額(①－②)」に記載した金額となります。ただし、臨時的な収入又は支出がある月に、納付可能基準額よりも増額又は減額した金額で納付する場合には、その金額を記載します。

「備考」欄

「分割納付金額」欄の金額を納付可能基準額よりも増額又は減額した金額としている月についてはその理由を記載します。

《記載例》

(臨時的な収入)	(臨時的な支出)
・不動産売却による収入(〇〇円)	・家屋の修繕費(〇〇円)
・借入による入金(〇〇円)	・〇〇税の納付(〇〇円)
・貸付金の回収による入金(〇〇円)	・製造用機械の買替(〇〇円)

4 「5 財産等の状況」欄

財 産 の 概 略		担保等
国債・株式等		<input type="checkbox"/>
不動産等	雑種地(〇〇市△△町××)	<input type="checkbox"/>
車 両	乗用車(△△ 330 あ〇〇〇〇・ローン有)	<input type="checkbox"/>
その他財産 (敷金・保証金・保険等)	〇〇生命保険	<input type="checkbox"/>

国債・株式等の有価証券、不動産等、車両などを所有している財産をそれぞれの欄ごとに具体的に記載します。

また「その他財産」欄には、敷金、保証金、保険等を記載します。

「担保等」の欄には記載した財産に抵当権等の担保権が設定されている場合にはチェックを付けます。

5 「6 借入金の状況」欄

借入先等の名称	借入金等の金額	①	②	③	④
		月額返済額	返済終了年月	追加借入	担保提供財産
〇〇銀行△△支店	1,000,000円	15,000円	令和〇〇年 3月 末	可・ <input checked="" type="radio"/> 否	宅地(〇〇市△△町)
	円	円	年 月 日	可・否	
	円	円	年 月 日	可・否	

- ① 毎月の平均的な返済額を記載します。
- ② 借入金の返済が終了する年月日を記載します。
- ③ 借入の枠が残っているなど、追加借入ができる場合は「可」に、できない場合は「否」に○印を付けます。
- ④ 借入等のために抵当権を設定しているものなど、担保として提供している財産等を記載します。